

掘りだそう、自然の力。

Calbee

とれたて、“旬”なカルビーニュース!

第62期のご報告 2010年4月1日から2011年3月31日まで

Contents

カルビーグループの価値観・・・P2	CSR通信 vol.1 …………… P15
Top Interview …………… P3	データブック…………… P17
特集 about Calbee …………… P9	WEBサイトのご紹介 …… 裏表紙

創刊号

カルビー株式会社

証券コード：2229

“おいしさ”を日本へ、世界へ。 カルビーは、 次なる飛躍に挑みます。

この度、東日本大震災において被災された皆さまには謹んでお見舞い申し上げます。カルビー株式会社は、この震災が発生した3月11日に、時を同じくして東京証券取引所市場第一部に上場しました。当日、私どもの工場の一部も被害に遭いました。大きな苦難に立ち向かう被災者の皆さまと心をひとつにして、カルビーも新たな課題に全力で立ち向かいます。



代表取締役社長 兼 COO

伊藤 秀二

代表取締役会長 兼 CEO

松本 晃

カルビーグループの価値観

創立60周年を迎えた2009年、カルビーはさらなる成長をめざして経営体制を一新しました。新生カルビーのスタートにあたり新たに掲げたグループビジョンには、カルビーを取り巻くステークホルダーの皆さまと、より良い関係を築いていきたいという想いを込めています。顧客・取引先、従業員とその家族、コミュニティへの責任を果たしていくことが企業価値の向上につながり、株主の皆さまのご期待にそえるものと考えています。

企業理念

私たちは、自然の恵みを大切に活かし、
おいしさと楽しさを創造して、
人々の健やかなくらしに貢献します。

コーポレートメッセージ

掘りだそう、自然の力。

Calbee

カルビーグループビジョン

顧客・取引先から、次に従業員とその家族から、
そしてコミュニティから、最後に株主から
尊敬され、賞賛され、そして愛される会社になる

Top Interview

松本晃代表取締役会長兼CEOから▶カルビーの成長戦略

イノベーションを常に忘れず、成長に向けたエネルギーを海外事業へ。



カルビーは今後の成長のために何をしていきますか？

松本「継続的成長と高収益体質の実現」という経営目標を達成するためには、コスト・リダクションとともに、イノベーションがカギを握ります。そのために、〈簡素化・透明化・分権化〉を更に強化し、従業員一人ひとりが自立的な実行力を持つ会社にしていきます。イノベーションのカギを握る6つの成長戦略は右のとおりです。高い壁に挑むことこそ、私たちに課せられた使命であると考えています。



グローバル展開に力を入れていくそうですね？



代表取締役会長 兼 CEO
松本 晃

松本 国内に需要を抱える食品会社の多くは、海外事業に意外と消極的です。カルビーも例外ではありませんでした。カルビーの海外の売上比率はわずか3.3% (2011年3月期末)。それを将来30%に引きあげようと考えています。戦略地域は、北米、中国、中国以外のアジアの3地域。中国以外のアジアでは、韓国、タイ、台湾、香港等で新たな事業展開を探ります。

● 韓国で合併会社を設立

この度、韓国のヘテ製菓と合併会社を設立しました。同社とは、2003年にライセンス契約を結んでおり、当社ブランドの商品は韓国市場で一定の評価を得ています。同社との合併会社にはカルビーからCEOを派遣し、7月1日から事業開始を予定しています。



ペプシコとの連携の意義は？

カルビーは、米国の食品飲料製造会社であるペプシコと2009年7月に戦略的提携。コーンスナック事業を補完するため、ペプシコの子会社であったジャパンフリトレーの株式を当社が100%取得する一方、ペプシコが当社の株式の20%を保有しています。今後、グローバル展開を図っていくうえで、原料調達や製品企画等、世界トップのスナック菓子企業ペプシコから学ばべきことは多いと考えています。



代表取締役社長 兼 COO
伊藤 秀二

伊藤秀二代表取締役社長兼COOから▶当期の業績概要

国内シェアのさらなる拡大と コスト・リダクション効果で 利益率は着実に上向いています。



上場後初の決算について
教えてください。

伊藤▶ スナック菓子市場は、他の業界に比べると値ごろな価格帯とボリューム感からお客さまに評価され、堅調に推移しました。カルビーグループの連結業績は、売上高1,555億29百万円(前期比6.2%増)、営業利益が107億17百万円(前期比12.4%増)となり、当期純利益は42億53百万円(前期比5.9%増)となりました。

●国内シェアの拡大

「ポテトチップス」のシェア拡大に向けて積極的なマーケティング活動を展開しました。その結果、前期60.4%だったシェアを当期は62.5%にまで伸ばすことが

できました。また、ポテト系スナックの「Jagabee」では販売チャネルの拡大と品揃えを強化。その結果、スナック菓子市場全体でも前期比2.4%増の48.5%のシェアとなりました。

●コスト・リダクションによる売上総利益率の改善

売上原価率は、前期60.1%に対して、58.2%となりました。購買の集中化、工場における生産アイテムの統合のほか、マーケティングの強化による生産量の増加も加わり、工場での稼働率が一層高まりました。コスト・リダクション効果のほか、原材料価格の低下もあり、売上総利益は前期比11.4%増の650億円となりました。



東日本大震災の影響について
いかがですか？

伊藤▶ 全国に17ある生産拠点のうち、茨城県の下妻工場、栃木県の新宇都宮工場、研究開発本部内工場、オイシア(株)清原工場の4拠点で、建屋およびラインの一部が損傷を受けました。この間、他工場に生産アイテムのシフトを行うなど対策を図る一方、復旧に全力をあげた結果、現在ではすべての工場において操業を再開しています。なお、2011年3月期の決算で、災害による損失を21億円計上しました。

売上高 前期比6.2%増	1,555億円
営業利益 前期比12.4%増	107億円
経常利益 前期比10.8%増	105億円
当期純利益 前期比5.9%増	42億円

当期の主な業績です。
詳しい説明は
17ページ以降を
ご覧ください！



カルビ－のDNAを未来へ。 継続的成長を実現し、皆さまのご期待に お応えしてまいります。



カルビ－の上場には
どんな意味があるんですか？

松本 〓 カルビ－は1949年に広島で設立、東京オリンピックが開かれた1964年に「かっぱえびせん」を発売して大ヒット。以来10年ごとに大きなヒット商品を世に送りだし、現在、国内のスナック菓子市場で48.5%（2011年3月期末 当社調べ）のシェアを誇っています。しかしグローバルではまだまだです。株式の上場を機に知名度を高めるとともにパブリック経営に転換、広く世間の皆さまに見守っていただきながら、カルビ－の商品を世界中の人たちにお伝えしたいと思っています。

伊藤 〓 カルビ－の魅力は商品開発力、マーケティング力、原料の調達力を含めたバリューチェーンの力などたくさんあります。私たちは、カルビ－が培ってきた



2011年3月11日
東京証券取引所市場第一部に上場



これらのDNAを未来に引き継ぎ、「継続的成長と高収益体質」をめざしていきます。そのためには、投資家の皆さまのご支援が必要と考え、この度株式の上場を行いました。



応援してくれる株主さまに、
どう応えていきますか？

伊藤 〓 当社の連結配当性向は、前期の2010年3月期は16.7%、当期の2011年3月期が19.1%となっています。1株当たりの年間配当金は、前期の2010年3月期が24円（50分割後）に対し、当期は28円といたしました。業績や事業の進捗を踏まえ、今後も安定的かつ魅力的な配当をめざしています。

松本 〓 今期は東日本大震災の影響による消費の低迷と原油高を背景とした原材料価格の上昇が予想され、厳しい経営環境が続く可能性があります。引き続き、成長戦略の要となるイノベーションと競争力の源となるコスト・リダクションに全力をあげ、増収増益を図る決意です。ステークホルダーの皆さまにおかれましては、今後も力強いご支援、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

カルビーのこと、 もっと知っていただくために。

あなたとカルビーの出会いはいつ頃ですか？

カルビーは、戦後まもない1949年に広島で松尾糧食工業株式会社として誕生。社名を「カルビー製菓株式会社」に変更したのは1955年のことです。日本が力強い復興を始めた1964年に「かっぱえびせん」を発売して大ヒット。以来、10年ごとに「ポテトチップス」「じゃがりこ」「フルーツグラノーラ」「Jagabee」などのヒット商品を世に送りだしてきました。

このページからの特集「about Calbee」では、そんなカルビーの歴史から特長などの一部を皆さまにご紹介させていただきます。

カルビーのあゆみ

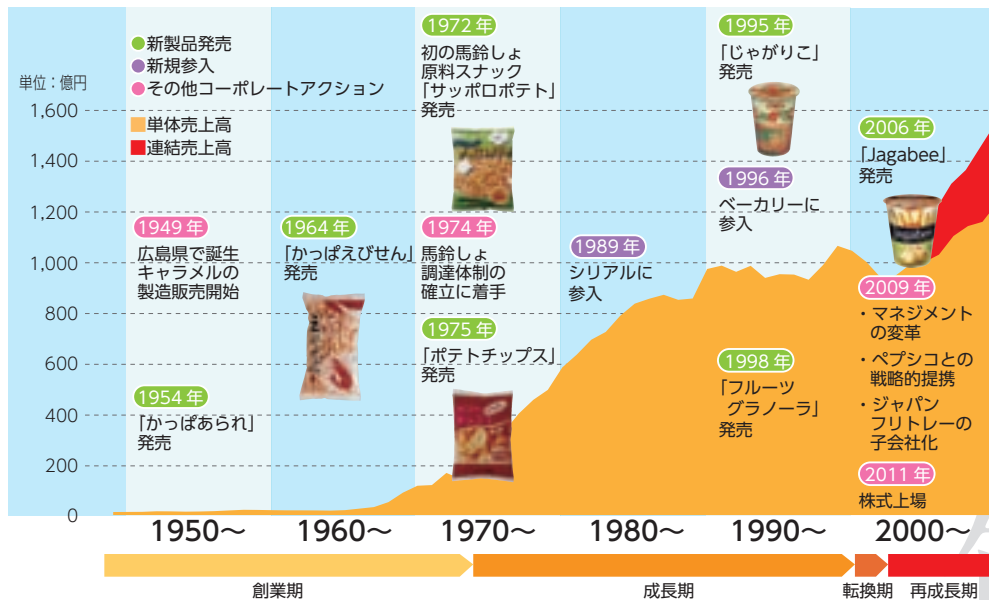
～イノベーションの歴史と売上高の推移～

カルビーは
どんな歴史を
歩んできたのかな？



社名の由来

「カルビー」はカルシウムの「カル」と、ビタミンB₁の「ビー」を組み合わせた造語。カルシウムはミネラルの中でも代表的な栄養素、ビタミンB群の中でもB₁はもっとも中心的な栄養素です。皆さまの健康に役立つ商品づくりをめぐして名付けました。



ユニークな思い入れが、 スナックの新しい市場を開拓しました

1995年の新発売から3年で100億円商品に育った「じゃがりこ」。さまざまな味の展開や全国のおみやげ商品の人気もあり、11年目で200億円商品に成長、発売15周年を迎えた現在は約250億円の安定した売上を維持しています。「じゃがりこ」をとおして、カルビーの商品開発力をのぞいてみましょう。

最初の発想は「女子高生がカバンに入れて持って歩けるような、袋菓子ではないじゃがいものお菓子を作ろう!」でした。そんなとき、たまたま目についたのが、ファーストフードなどでおなじみの飲料の容器(カップ)。これなら持ち運びにも便利だし、スナックにも使えるかも……ということ調査や改良を重ね、今の「じゃがりこ」の原型ができあがりました。

顧客価値を最大化する営業体制へ

カルビーは、菓子業界の中でも、いち早く小売店の店頭フォローを開始し、お客さまとの密接なコミュニケーションを確立する体制を構築してきました。お客さまのニーズを真摯に掘りおこし、付加価値のあるプロモーションを提案し続けています。

2011年度からは、お客さまとの接点をさらに見直し、顧客価値を最大化するために、従来の販売チャネル中心ではなく、市場の現実を見据えた、エリア制へと営業体制を変更します。

各営業組織が、担当する商圈とお客さまを明確に把握し、最適なコミュニケーションがとれる体制を整えることで、お客さまにご満足

いただける販売活動をお得意先さまと共にすすめていきます。



じゃがりこ おいしさの秘密!



「じゃがりこ」は、ふかしただじゃがいもをフライする独自の製法で、カリカリの食感としっかりしたじゃがいもの味が特徴です。

じゃがいもの生地に野菜やチーズを練りこみ、食べやすいスティック状に加工。「手を汚さずに」「いつでもどこでも」おいしくいただけます。



11

商品開発を支えるために

高品質の原材料をいつも安定的に

栽培方法や気候の変動に大きく左右される原材料。カルビーは、主原料であるじゃがいもについては、栽培から商品の製造、店頭販売までの各工程で品質を厳しく検査するとともに、約2,000の契約農家とパートナーシップを結び、栽培技術やプロセス管理の支援も行うなど、より良い原材料確保に懸命に取り組んでいます。



おいしさと安全性を追求

全国に17あるカルビーの工場では、品質・衛生管理を徹底。異物混入を防ぐ他、各種の科学的な検査や五官による官能検査を実施しています。また、工場をクリーンに保つだけでなく、生産工程で出た不良品の再利用など、排出についても処理・管理を徹底しています。こうして品質を高め、ロスを減少させることが、お客さま満足度の向上や環境負荷の低減にもつながっています。

12

じゃがいもを原料とした「ポテトチップス」をはじめとする多彩なスナックを中心に、ベーカリー、シリアル食品まで幅広く展開。お客さまの声を積極的に取り入れた企画開発のもと、独自製法による新たな味・食感を追求し続けています。

ポテトチップス

パリッとした食感で良質なじゃがいものおいしさを味わえます。

じゃがりこ

ふかしたじゃがいもを加工する独自製法で、少しかための心地よい食感が特徴。

Jagabee

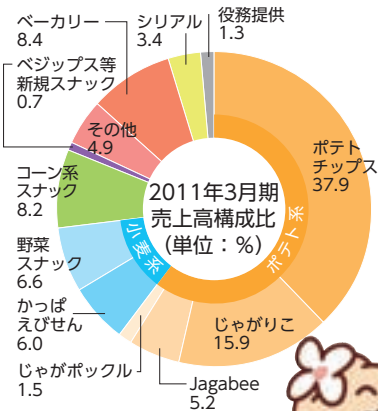
独特の食感、皮付きじゃがいもをスティック状にカットする独自製法から。

かっぱえびせん

天然のえびを丸ごと練りこんだ旨みで愛されている日本初のスナック菓子。

シリアル食品 フルーツグラノーラ

玄米などの穀物に、ドライフルーツなどを加え、食物繊維や鉄分、8種のビタミンを手軽に摂れます。



もっと知りたい!
カルビーのコト。

いくつか知っていますか。
あなたのカルビー

カルビーが展開するスナック菓子には、左でご紹介したほかにも、「じゃがポックル」や「東京じゃがりこカレー味」などおみやげ商品シリーズも。さらに最近では、健康志向の高まりと、自然と共生するアジア的ナチュラル指向への支持を捉えた「ひとくち美膳」を発売しています。

素材ぎっしり、
雑穀×フルーツ。新製品



ひとくち美膳

東洋古来の知恵をもとに、いちじく、玄米など果実や木の実、雑穀などの素材が持つチカラを活かしています。

日本のおいしさを世界へ

カルビーは、「Calbee」のスナックを世界の人々に楽しんでいただくため、北米、中国、アジアへの展開を急いでいます。

世界最大のスナック菓子消費国である北米においては、当社と提携関係にある世界的な食品飲料製造会社ペプシコの寡占状態にあります。「じゃがりこ」「Jagabee」のような個性的な製品での展開が新たな競争力のカギを握ると考えています。

生活水準が向上した中国は、消費者の嗜好が確実に変化しつつあります。この数年、お菓子の嗜好はスナック菓子やチョコレートの消費に向かい、スナック菓子の売上は確実に伸張してきました。カルビーにとっても大きな事業拡大の機会ととらえています。

アジアにおいては、韓国、タイ、台湾、香港などの既存市場で製品ラインアップの拡充や現地パートナーとの関係強化により、新たな市場の活性化を図っていきます。



社会とともに、人々とともに。

カルビーグループの事業は多くのステークホルダーの皆さまに支えられています。私たちの事業を支えてくださる皆さまとより良い関係を築くため、カルビーではさまざまな社会貢献活動を推進しています。同時に、地球温暖化の防止や廃棄物削減など、グループを挙げてCO₂排出量の削減や省資源に取り組んでいます。

ステークホルダーの皆さまから尊敬され、賞賛され、愛される会社になること、これが私たちカルビーの誓いです。



ホームページのCSRページでは「社会・環境報告書」をダウンロードできます。最新版は7月下旬に掲載予定です。

カルビーのCSR活動

主な社会への取り組み

お客さまのために

- 全件対応の「お客様相談室」
- お客さまへの情報開示を推進
- システムづくりを推進 など

お取引先さまのために

- 公正な取引の徹底

従業員のために

- 人を活かす組織・制度づくり
- ダイバーシティの推進 など

地域社会のために

- グループ全体で社会貢献を推進
- 「カルビーナックスクール」の開催
- 食とスポーツのコラボレーションを推進 など

主な環境への取り組み

- 環境マネジメントの推進
- 地球温暖化防止 (CO₂削減)
- 資源の有効利用
(廃棄物発生量の抑制と再資源化)

具体的な取り組みの一例

社会貢献委員会

カルビーグループでは、全グループ、全従業員によるコミュニティへの貢献を実現するために、各事業体に社会貢献委員会が組織されています。メンバーは「地域に密着して、汗をかく活動をする」ことを方針に、事業所が立地する地域社会、さらには全世界の共同社会に貢献するべく積極的に活動を進めています。

**カルビーグループ社会貢献
ミッション・ステートメント**
私たちカルビーグループ社員は、良き市民として、
私たちが生活し、働いている地域社会、
さらには全世界の共同社会に貢献します。

CO₂削減活動の推進

カルビーグループは2009年に発足した「環境対策部」を中心に、全社一丸となって環境目標の実現に向けて取り組む企業風土を確立しています。2010年度はLCA (ライフサイクルアセスメント)に基き、効果的なCO₂排出量の削減を推進しています。

東日本大震災への支援について

カルビーグループでは被災された福島県、宮城県、岩手県の3県に約7千7百万円の義援金をお届けしました。これは、社会貢献委員会からの呼びかけによる、カルビーグループ従業員からの約2千万円の募金に会社からの寄付を加えたもので、3月下旬に社長が直接被災された各県を訪問しお渡ししてまいりました。そのほか、自衛隊等を通じ6千4百万円相当の支援物資を各地へお届けしています。

また、震災後あらたに「ボランティア休暇」を制定し、従業員のボランティア活動への参画を支援、すでにこの制度を利用し各地の従業員がボランティア活動に参加しています。さらに現在、「カルビーグループボランティア活動ツアー」を計画中。私たちにできることを少しずつ実行していきたいと考えています。

当「CSR通信」では、カルビーの社会・環境への具体的な取り組み事例などを、次号からご紹介いたします。

主要連結経営指標

(単位：百万円、単位未満切捨)

	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期
売上高	137,377	146,452	155,529
営業利益	4,408	9,533	10,717
経常利益	4,465	9,539	10,570
当期純利益	2,523	4,017	4,253
1株当たり当期純利益*	98.29	144.03	146.48
総資産	92,169	93,657	99,393
純資産	53,932	63,770	72,924
1株当たり純資産*	2,008.93	2,117.76	2,200.55
自己資本比率(単位：%)	56.0	65.2	70.7
自己資本当期純利益率(ROE)(単位：%)	5.0	7.1	6.5
総資産経常利益率(ROA)(単位：%)	4.8	10.3	11.0

*2011年1月14日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っております。2009年3月期と2010年3月期の1株当たり当期純利益と1株当たり純資産は当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を記載しております。

データブック インデックス

業績解説

・連結損益計算書 18

財務解説

・連結貸借対照表 19

・連結キャッシュ・フロー計算書 20

会社情報

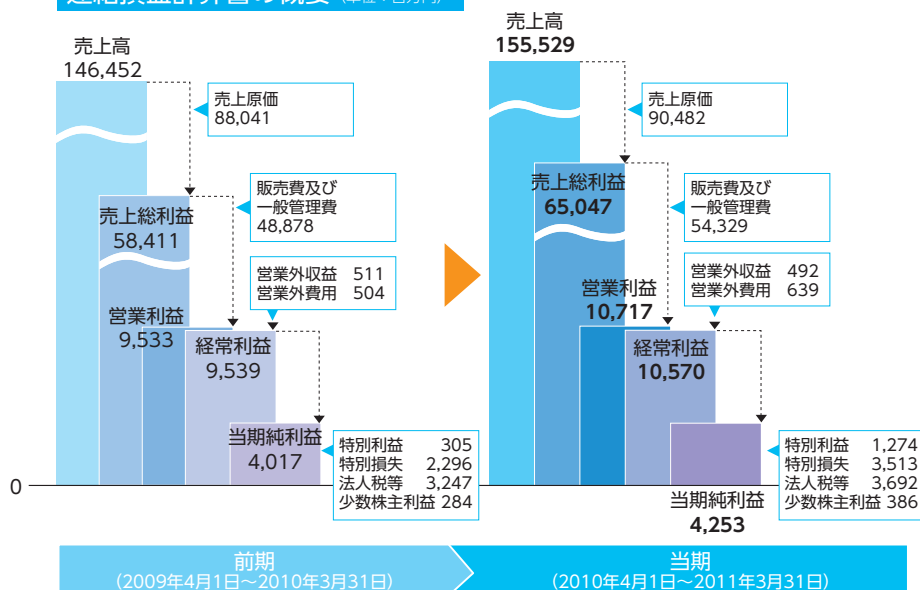
21

株式情報

22

業績解説

連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



連結損益計算書について

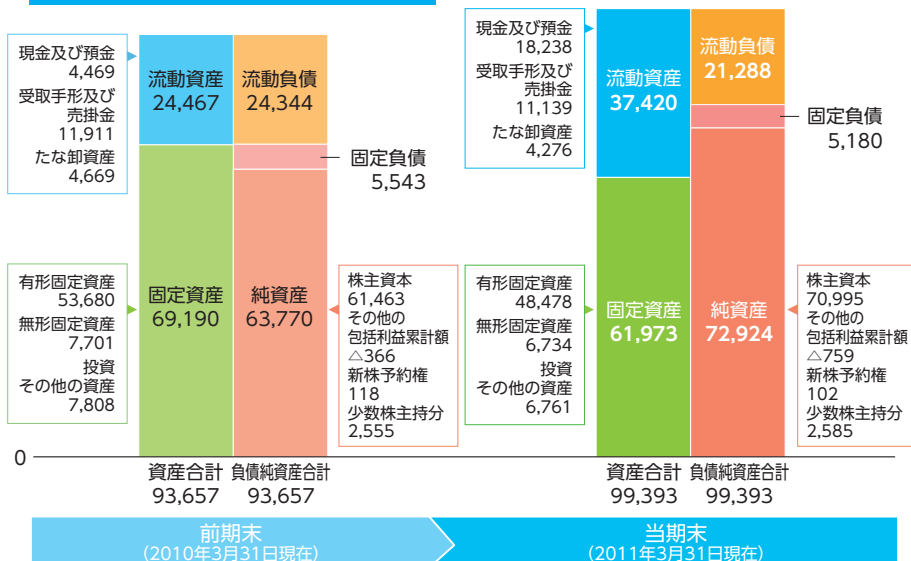
「ポテトチップス」各種のリニューアルや新製品の投入により、積極的な拡売活動を展開したことや、「Jagabee」の販売も好調に推移したこと等により、売上高は1,555億29百万円(前期比6.2%増)となりました。

売上総利益は、コスト・リダクションの推進や原材料価格の低下により前期比11.4%増となりました。

国内シェア拡大に向け、マーケティング活動を積極的に行ったことにより、販売費及び一般管理費は前期比11.2%増となり、その結果、営業利益は前期比12.4%増となりました。

東日本大震災による損失21億円を計上したことなどにより、当期純利益は42億53百万円(前期比5.9%増)となりました。

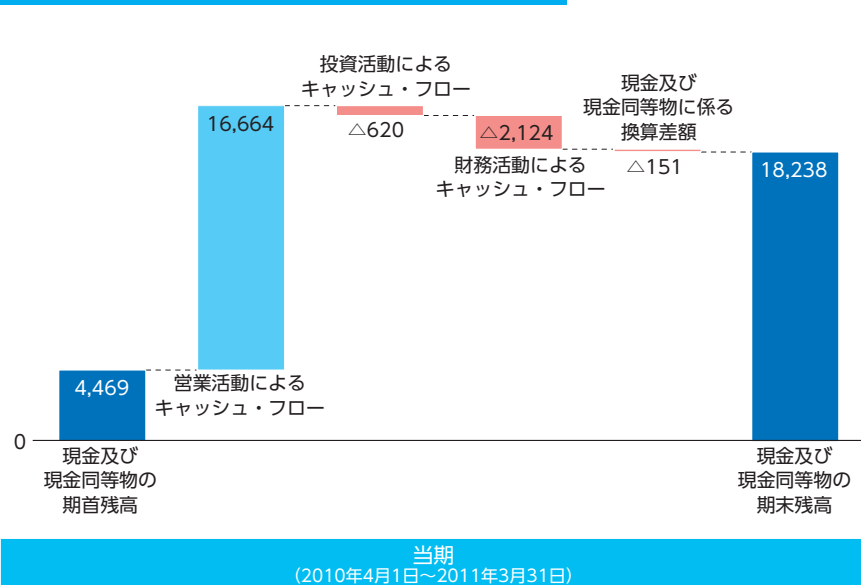
連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結貸借対照表について

総資産は前期比57億35百万円増加しました。上場に伴う公募増資により資本金及び資本準備金と預金が増加したことによりです。バランスシートの健全化を図るため、固定資産の除売却や借入金の返済も進めました。その結果、建物及び構築物、機械装置及び運搬具、土地、投資有価証券が減少し、現金及び預金が増加しました。負債は、設備購入に係る未払金の増加や災害損失引当金の計上がありましたが、長短借入金が減少したことにより、前期比34億18百万円の減少となりました。純資産は資本金及び資本準備金が増加したことや当期純利益の計上により91億54百万円の増加となりました。自己資本比率は前期比5.4ポイント上昇し、70.7%となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書について

当期における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前期比137億69百万円増加し、182億38百万円となりました。

● 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益83億31百万円、減価償却費等の資金の増加、法人税等の支払額41億22百万円等の減少により166億64百万円の純収入となりました。

● 投資活動によるキャッシュ・フロー

生産設備等の有形固定資産の取得による支出35億50百万円、土地・建物等有形固定資産の売却による収入31億25百万円等により6億20百万円の純支出となりました。

● 財務活動によるキャッシュ・フロー

株式の発行による収入55億41百万円の資金の増加、短期借入金の純増減額による減少25億99百万円、長期借入金の返済による支出45億69百万円の資金の減少等により21億24百万円の純支出となりました。

会社概要

社名 カルビー株式会社
 本社所在地 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3
 丸の内トラストタワー本館22階
 設立 1949年4月30日
 従業員数 1,466名(連結 2,911名)
 ※臨時従業員は含んでおりません。



国内関連会社

カルビー食品(株)	カルビーポテト(株)
スナックフード・サービス(株)	ガーデンベーカリー(株)
タワーベーカリー(株)	スターベーカリー(株)
(株)カルナック	オイシア(株)
ジャパンフリトレー(株)	カルビー・イートーク(株)



海外関連会社

[米国] Calbee America, Inc.
 RDO-CALBEE FOODS, LLC
 [タイ] Calbee Tanawat Co., Ltd.
 [香港] CIL COMPANY LIMITED
 Calbee Four Seas Co., Ltd.
 [中国] カルビー四洲(汕頭)有限公司
 青島カルビー食品有限公司
 烟台カルビー商貿有限公司
 [韓国] HAITAI-CALBEE Co., Ltd.

※2011年7月1日事業開始予定

役員 (2011年6月28日現在)

代表取締役会長	松本 登
代表取締役社長	伊藤 秀二
※ 取締役	茂木 友三郎
※ 取締役	喜岡 浩二
※ 取締役	大歳 卓麻生
※ 取締役	一 條 和生
※ 取締役	ユームラン・ベバ
* 常勤監査役	石田 正
常勤監査役	原 健二
* 監査役	稲葉 陽二
* 監査役	谷津 朋美

※社外取締役 *社外監査役

株式情報

(2011年3月31日現在)

発行可能株式総数 44,000,000株
 発行済株式の総数 31,917,450株
 株主数 9,678名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
一般社団法人幹の会信託口	7,040	22.06
Frito-Lay Global Investments B.V.	6,700	20.99
カルビー従業員持株会	2,359	7.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	686	2.15
三共ポリエチレン株式会社	520	1.63
鳥越製粉株式会社	484	1.52
NORTHERN TRUST CO AVFC RE NORTHERN TRUST GUERNSEY IRISH CLIENTS	458	1.44
株式会社桐原容器工業所	363	1.14
株式会社イトー	300	0.94
株式会社みずほ銀行	275	0.86
住友信託銀行株式会社	275	0.86

所有者別分布状況

外国法人等 26.6%	個人その他 31.1%	その他の法人 35.1%
証券会社 0.4%		金融機関 6.8%

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 株主名簿管理人及び
 特別口座の
 口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 住友信託銀行株式会社
 (株主名簿管理人)
 (事務取扱場所) 東京都中央区八重洲二丁目3番地1号
 住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
 住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 0120-176-417 (フリーダイヤル)
 (URL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
 公告方法 電子公告により行います。
 (下記の当社ホームページに掲載いたします。)
<http://www.calbee.co.jp/>
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって
 電子公告ができない場合は、日本経済新聞に
 掲載して行います。

みなさまとカルビーをつなぐ、WEBコミュニケーション。
カルビーのWEBサイトは、楽しさがつまった宝島。
ぜひ、探検してください！



商品情報へは
こちらへ！

あなたの知らない美味し
さに出会えるかも？人気
商品の耳より情報満載の
特設サイトもたくさん。

キャンペーン・おたのしみ
情報へはこちらへ！

いま開催中のお得なキャンペーン情報
を一覧でご覧いただけます。また、会
員限定コンテンツなどの様々な特典が
ある「カルビーマイページ」へのご登録
(無料)もこちらから。

カルビー株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館22階



このスペースじゃ、伝えきれない！
どんどん遊びにきてください！

カルビー

検索

<http://www.calbee.co.jp/>

IR情報へはこちらへ！
<http://www.calbee.co.jp/ir/>



より詳しい財務・業績情報を掲載。
個人投資家向けサイトへはこちらへ。



カルビレッジのご利用には
会員登録が必要です(無料)。

個人投資家向けサイトからは、カルビー
のすべてをバーチャル体験できる特設サ
イト「カルビレッジ」につながっています。

CSR情報へはこちらへ！